

平成30年度 学校評価報告書1 (計画段階 ・ 実施段階)

いざいかを○で囲む

学校名		福岡市立博多工業高等学校		学校経営方針・学校教育方針		今年度の重点目標		評価(総合)	
学校長	ふりがな	みやざき しんすけ		(1)「新しいふくおかの教育計画(後期実施計画)」および「福岡市立高等学校活性化に向けた取組方針(第2次)」に則り、具体的方策の推進に組織的に取り組み、「都市型工業高校」を目指す。 (2)教育目標達成のため、学習指導、進路指導、生徒指導等に、各学科、各部、各教科、各種委員会が連携・協力した組織的・機能的な学校運営を行う。 (3)工業高校の「ものづくり」をはじめ、魅力ある諸教育活動を通してスペシャリストを育て、産業界や地域社会から求められ、期待される生徒を育成する。 (4)本校諸教育活動を通して、社会人として求められる挨拶や礼儀、マナー、言葉遣い、規律、自己表現力、コミュニケーション能力、公德心等を身に付けさせる。 (5)生徒の学力や能力を伸長させ、安心・安全に過ごせる学校生活を保障する。 (6)体罰・セクハラ防止、飲酒運転の厳禁、適切な情報管理、個人情報の保護などを徹底し、信頼される学校経営を行う。 (7)ユニバーサルデザインに基づく教育環境づくりや合理的配慮を含む特別支援教育の推進を行う。		(1)「考動」をモットーに、生徒会を中心とした挨拶運動・環境美化運動を継続し、規律を守り、自発的な判断・行動能力を高めさせ、諸行事の円滑化を図り、誇りを持たせる。(総務部) (2)教科指導を強化し、生徒個々の学力の向上を図り、進路実現に繋げる。評価制度の点検および改善、平成31年度実施に向けた新進学コースの教育課程編成に取り組む。(教務部) (3)社会の一員として適切に行動できる生徒の育成のために、社会的な資質や能力・態度を身につけさせる。また、博工スタンダードとして「挨拶・身だしなみ・話を聞く態度」の確立に取り組む。(生徒指導部) (4)生徒へ適切な就業観・職業観を養い、全ての生徒の進路実現に応える。また、新たな大学入試制度改革に備え、平成31年度実施に向けた新進学コースの設置に取り組む。(進路指導部) (5)部活動・ものづくりを通じて、個々の「人間力」「チャレンジマインド」の向上を図るとともに、各大会や競技会での上位入賞を目指し、活気ある学校づくりに取り組む。(特別活動部) (6)学科募集制度の検証を行い、更なる、各学科の特色を持ち、工業技術「各種競技会・資格取得・ものづくり」の向上のために企業や大学等との積極的な連携や知的財産教育等に取り組み、基礎から高度な技術まで身につけさせる。工業教育推進部) (7)生徒・保護者との関わりをさらに深め、寄り添い、楽しい学校づくりのための人権感覚を養う。(人権教育推進担当)		学校自己評価	学校関係者評価
	氏名	宮崎 信介						学校関係者評価委員会委員長	ふりがな
校長本校在籍年数		3年							

昨年度の成果と課題	◎成果:①A事業による校内ICT浸透とわかる授業化への進歩, ②生徒会主体による活動の定着, ③ものづくりコンテスト県1位・県生徒研究発表最優秀賞など工業に係る活動で結果を残した ◎課題:①評価規準・基準の検討, ②規範意識の育成に向けて更なる取組の実施 ③早期離職防止に向けた取組, ④生徒会活動の更なる活性化, ⑤時制変更による放課後の資格取得指導時間の有効活用, ⑥SNSに係る新しい指導方法の模索
-----------	---

評価項目	目標及び具体的な方策等		学校自己評価	取組状況・成果・課題	学校関係者評価	学校関係者評価委員会からの意見等	今後に向けての方針・改善点
	目標	具体的な方策					
教育課程・学習指導	教科指導の強化	授業アンケートを活用し、情報の共有化を図り、授業改善の工夫を行う 定期的に授業見学を行い、先生方の授業点検・授業方法の改善に努める。					
	教育課程の編成	来年度予定されている新進学コースに向けた教育課程編成への取り組み。 学習指導要領に応じた評価基準の検討を行い、観点別評価基準の検討を行う。					
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上	自己指導能力の育成に向けた指導体制の構築 全職員、生徒会生活委員会による登下校指導(挨拶・身だしなみ・自転車マナー)と風紀検査での徹底指導					
進路指導	確かな進路実現(就職指導)	正しい生活習慣と基礎学力を定着させた生徒を育成することで、企業との信頼関係を確立させる。 キャリア教育の充実・企業との連携により、早期離職者の防止に努める。					
	確かな進路実現(進学指導)	学級担任等と連携し、生徒個々に応じた進路相談、指導や支援を充実させる。 積極的に情報を収集し、校内の指導・支援体制の改革・改善を行うなど、学校間(大学・専門学校等)連携の推進に努める。					
特別活動	生徒会・部活動の活性化	生徒会専門委員会における諸活動の活性化 部活動生の意識向上と諸活動の活性化					
工業特色	「ものづくり」技能・技術の向上、工業各科の授業・実習内容の向上・見直し	各科の工業に関する専門性を向上させるため、外部との連携を積極的に図る。課題研究、知的財産教育の推進・充実を図る。 ものづくり技術を向上させ、ものづくり競技会などでの成果を高める。地域や中学校に対する広報活動を充実させ、本校の取り組みを積極的にアピールする。					
	資格取得・各種検定合格率の向上	資格取得プログラムを再検討し、専門性の高い資格や、難易度の高い資格習得を目指す 資格取得指導を充実させるための、教員の資質向上を図る					
修学支援	生徒の自己実現に寄り添い、支援する	生徒・保護者の願いを聞きつつ、特別に支援が必要な生徒に対するきめ細やかな支援を行う 各種奨学金への相談体制を充実させ、新設された給付金制度への周知と理解を広げる					
	差別の現実から学びを深める	校外外で実施される研修会や学習会への積極的な参加を促進する 生徒会活動との連携を深め、屋形原特別支援学校との交流学習を拡充する					

※ 学校自己評価は、5段階評価(S…目標を大幅に上回る達成度,A…目標を上回る達成度,B…目標どおりの達成度,C…目標を下回る達成度,D…目標を大幅に下回る達成度)で成果や取り組み状況等について記入すること。
 ※ 学校関係者評価は、学校自己評価について5段階評価(S~D)で評価すること。